

第6学年 「私たちにできること」 単元構造図
単元名 具体的な事実や考えをもとに、提案する文章を書こう

【単元の目標】

- ◎筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考慮することができる。(思 B(1)イ)
- 文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解することができる。(知(1)カ)
- 目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすることができる。(思 B(1)ア)
- 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。(思 B(1)ウ)

【評価規準】

- 【知】** 文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。(1)カ)
- 【思】** ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)
 - ・「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。(B(1)イ)
 - ・「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ)
- 【態】** 筋道の通った文章となるように、粘り強く文章全体の構成を考え、学習の見通しをもって提案する文章を書こうとしている。

【本単元で習得した資質・能力を活用する今後の学習】
 6年「日本文化を発信しよう」伝えたいことに合わせた構成を考える。

【単元を貫く課題】
 具体的な事実や考えをもとに、提案する文章を書こう。
 【言語活動】
 提案する文章を書く。

【第3次】

- ⑩ 提案書を読み合って、よいと思う点を伝えよう。
 - ・ほかのグループの提案書を読み、よい点を伝え合う。
- 説得力のある書き方が、提案には一番大切だということが分かった。(1)カ)

【第2次】

- ③ 提案するテーマに関わる池田小学校の情報を集めよう。
 - ・テーマとなる問題について、池田小学校の中ではどうなっているのか調査する。
 - ・調べた情報をタブレットを使って記録する。
- 集めた情報を整理すれば、テーマに関わる現状や問題点、解決方法を考えられそうだ。
- ④ 仲間と意見を交流しながら、テーマのきっかけとなった出来事や池田小学校の現状について考えよう。
 - ・テーマに沿って、池田小学校の現状や問題点について意見を交流する。
- 提案のきっかけと池田小学校の現状を確認し、提案に書く内容が分かりやすくなった。B(1)ア
- ⑤ 仲間と意見を交流しながら、テーマに対する提案とそれが実現したときの効果について、グループの案を決定しよう。
 - ・問題が解決できるか、全校でできるかに注目して提案を考える。

提案の意図を考慮することや、誰に対して提案するのかを考慮することが大切。また、意見をまとめたり、整理したりしてグループの意見を決定していくとよい。B(1)ア
- ⑥ 提案する文章の構成を考えよう。
 - ・提案の意図が伝わるような構成を考え、構成メモを完成させる。
- 現状や問題点を整理し、筋道が通った文章になるように、全体の構成を考慮することが大切。B(1)イ
- ⑦ グループで分担して、提案する文章の下書きを書こう。
 - ⑧ 構成メモを基にグループで担当を決め、下書きを書く。
- 自分たちの考えが伝わるように、見出しや箇条書きなど書き表し方を工夫することが大切。B(1)ウ
- ⑨ 下書きをグループで読み合い、文章の全体の構成や内容、書き方を検討して清書しよう。
 - ・下書きを読み合って、文章構成や内容、書き方について意見を出し合う。
- 文章全体の構成が、読む人にとって分かりやすいかどうかを考えて読むとよい。

【第1次】

- ① 具体的な事実や考えを基に、提案する文章を書こう。
 - ・課題に出会う。
 - ・教材名やリード文を読み、提案する文章の特徴を理解し、学習計画を立てる。
- 身の回りではどんな問題が起こっているのだろうか。自分たちにできることはないだろうか。
- ② 身の回りにある問題から、提案する文章のテーマを決めよう。
 - ・身の回りにある問題について、自分たちが取り組みたいテーマを決める。
 - ・テーマに沿って本など資料から必要な情報を探す。
- 自分たちが決めたテーマについて調べ、提案文を書く見通しがもてた。(知(1)カ)

【ICTの活用】

タブレットの写真機能を使い、学校の様子について記録する。

【言語についての知識・理解・技能】
 語句調べ

【児童の実態】

対話活動を四月から取り入れ、自分の意見を伝えたり、仲間の意見に対して感想を言ったりすることに意欲的に取り組める児童が多い。しかし、自分の意見に固執したり、遠慮して自分の意見よりも仲間の意見を優先したりしてしまう姿もあり、対話によってグループでよりよい意見に練り上げていくという経験が乏しい。本単元では、グループで一つの提案文章を作成する。そのために、グループで意見を出し合い、対話をしながら意見を分類したり関係付けたりして整理する学習を行う。対話をする中で、自分たちの意見を広げたり、まとめたりすることができ、示すべき理由や事例などの事実が絞られ、伝えたいことを明確にすることができるようにしたい。

第6学年 国語科学習指導案		授業者	山仲 千佳	場所	6年1組教室
単元名	単元名 具体的な事実や考えを基に、提案する文章を書こう 教材名 「私たちにできること」			本時	5 / 10
ねらい	問題の解決方法や実現したときの効果などについて、具体的な方法や考えを出し合って話し合い、グループの提案の内容を決定することができる。				
過程	本時の展開				
	学習内容	指導・援助 ※評価規準			
つかむ (5分)	<p>1 これまでの学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「提案のきっかけ」について話し合い、「提案するきっかけ」の部分に書く内容を決めることができた。 「提案」について自分の考えを付箋にまとめることができた。 <p>2 本時の課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>仲間と意見を交流しながら、テーマに対する提案とそれが実現したときの効果について、グループの案を決定しよう。</p> </div> <p>3 グループ交流をする。(広げる対話)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> 節電を呼び掛けるポスターを作りたい。ポスターは、クラスの数だけ作り、教室に貼ってもらう。そうすることで意識してもらえらると思う。 放送で呼びかけたらいいと思う。放送で、節電できているクラスをお知らせしたら、みんなやる気になってくれると思う。 </div> <p>4 全体交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 仲間と意見を出し合うことができた。どうやってグループの案を決定しようか。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【考える視点】</p> <p>問題が解決できるか 全校でできるか</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 問題を解決できる内容になっているだろうか。 池田小学校の1年生から6年生までが分かる提案になっているだろうか。 <p>5 グループ交流をする。(まとめる対話)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ポスターは見てもらえないと効果がない。低学年と高学年の玄関に貼った方が目立ってよいのでは。 お昼の放送なら、全校の子が聞いているから、分かってもらいやすい。 </div> <p>6 本時の学習を振り返り、次時の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 条件を基に自分たちの意見を見直してみると、提案にふさわしいものが分かった。 意見を似ているもの、違うものに分けて付箋で貼っていくと、決めやすかった。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>意見をまとめるためには、提案の意図を考慮することや、誰に対して提案するのかを考慮することが大切だと分かった。また、仲間と出し合った意見を、まとめたり、整理したりしてグループの意見を決定していくとよいことが分かった。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 次の時間は、提案する文章全体の構成を考えよう。 	<p>□前時「提案のきっかけ」について話し合ったことを振り返り、本時の課題をつかんでいるか。 (発言内容・つぶやき)</p> <ul style="list-style-type: none"> 掲示物を使って、本時の活動を確認する。 <p>□具体的な方法や考えを出して話し合っているか。(発言内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> 前時に書いた自分の考えの付箋を見せて、グループの仲間と交流する。 仲間の意見を良く理解していない場合は、意見に対して質問し、それぞれ具体的に理解しながら進められるように助言する。 タブレットや前時の資料などを示しながら意見を交流する姿を価値付ける。 <p>□意図や目的に応じて、提案する内容の筋道が通っていることについて考えているか。(発言内容・表情)</p> <ul style="list-style-type: none"> 提案は同じだが、具体的な取組内容が異なる意見を取り上げる。 各目的や意図に応じて提案を考えている児童を取り上げ、筋道が通っていることを価値付ける。 自分達の提案で、問題が解決できるか問いかける。 <p>□グループで出した意見を、分類したり、関係付けたりして、内容を整理しているか。(記述内容・発言内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> グループとしての考えをまとめられるように、付箋を貼り替えたり、学習プリントに線などを書き込んだりして、意見を分類・整理して話し合うように助言する。 <p>□目的や意図に応じて、提案する内容を考えることができたかについて振り返っているか。(ノート)</p> <ul style="list-style-type: none"> 振り返りを書けずにいる児童には、考える視点の言葉を使って書くように助言する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>※評価規準</p> <p>目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、提案文章に書くことを明確にすることができる。 B(1)ア</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 書くための材料を分類・整理・決定できたグループや発言を価値付ける。 			
考える (20分)					
深める (10分)					
まとめる (10分)					